

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第4週の発生動向

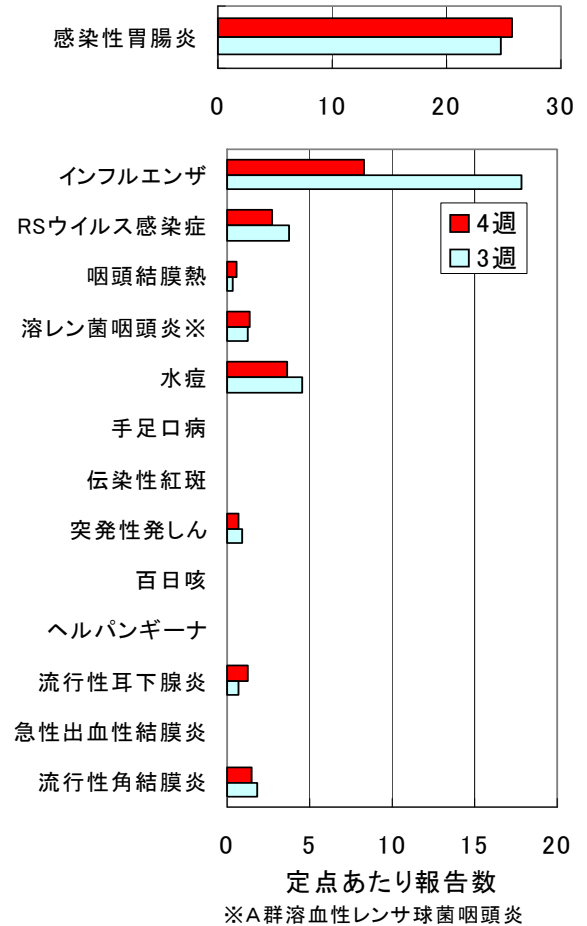
定点医療機関からの報告総数は1,799人(定点あたり46.0)で、前週比82%と減少した。

感染性胃腸炎の報告数は925人(25.7)で前週比104%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点あたり平均値(15.1)の約1.7倍と多い。小林(66.0)・日南(41.3)・都城(26.3)・中央(22.0)・宮崎市(21.2)・高鍋(20.5)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から6歳で全体の約6割を占めた。

水痘の報告数は130人(3.6)で前週比79%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(4.0)と比べても約9割と少ない。都城(7.3)・延岡(6.0)保健所からの報告が多く、都城保健所管内では警報レベルを超えている。年齢別では1歳から4歳で全体の約8割を占めた。

インフルエンザの報告数は487人(8.3)で前週比46%と減少した。小林(16.0)・日南(14.2)・都城(10.8)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の33%、6-9歳が26%、10-14歳が21%、15-19歳が4%、20歳代-50歳代が15%、60歳以上が1%を占めた。

《前週との比較》



□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	0.61	日向(3.3)	1歳が全体の約6割を占めた。 すべて7歳以下の報告であった。
感染性胃腸炎	20	25.7	小林(66.0)、日南(41.3)、 都城(26.3)、中央(22.0)、 宮崎市(21.2)、高鍋(20.5)	1歳~6歳で全体の約6割を占めた。
水痘	7	3.6	都城(7.3)	1歳~4歳で全体の約8割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例が宮崎市 (2 例)、都城・延岡 (各 1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・90 歳代の男性で肺結核。咳がみられた。
・30 歳代の女性で肺結核。痰がみられた。
《都城保健所》・70 歳代の女性で肺結核及びその他の結核 (粟粒結核)。咳、痰、発熱がみられた。
《延岡保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 梅毒 2 例が都城・日南 (各 1 例) 保健所から報告された。
《都城保健所》・30 歳代の女性で無症状病原体保有者。
《日南保健所》・80 歳代の男性で無症状病原体保有者。

■ 全国第 3 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 29.1 で、前週比 121% と増加した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎とインフルエンザで、減少した疾患は流行性耳下腺炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は 41,927 人 (13.8) で、前週比 131% と増加した。例年同時期 (9.0) の約 1.5 倍と多い。愛媛県 (25.0)、宮崎県 (24.8)、大分県 (21.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は 43,436 人 (9.0) で、前週比 111% と増加した。沖縄県 (36.7)、宮崎県 (17.8)、山梨県 (17.6) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 27%、6-9 歳が 23%、10-14 歳が 17%、15-19 歳が 8%、20 歳代から 50 歳代が 23%、60 歳以上が 2% を占めた。

□ 全数把握対象疾患

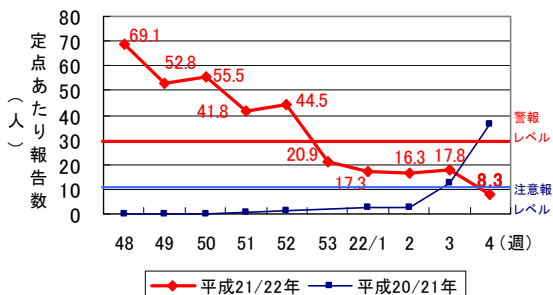
- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 301 例
- 3 類感染症 : コレラ 1 例、細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 14 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 1 例、つつが虫病 4 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 10 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 12 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 5 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 17 例、梅毒 8 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、麻しん 10 例

■ インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

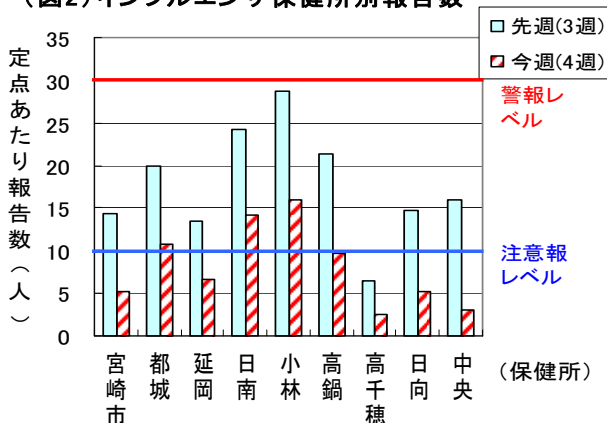
平成22年1月25日～1月31日までの1週間で487人（定点あたり8.3）の報告があり、前週比46%と減少した（図1）。小林（16.0）・日南（14.2）・都城（10.8）保健所からの報告数が多く（図2）、年齢別では5歳以下が全体の33%、6-9歳が26%、10-14歳が21%、15-19歳が4%、20歳代-50歳代が15%、60歳以上が1%を占めた（図3）。

（図1）インフルエンザ週別発生状況（過去10週）

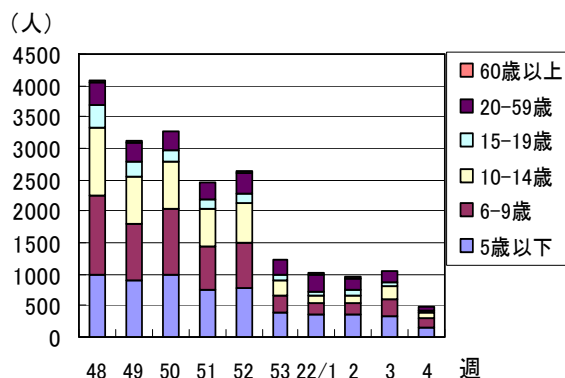


		第4週 (1/25～1/31)	累計 (21/30～22/4週)
集団発生件数		0	429
遺伝子検査陽性件数		4	408
型別	AH1亜型(ソ連型)	0	0
	AH3亜型(香港型)	0	2
	AH1pdm(新型)	4	406
入院患者数		6	251
重症患者数		0	15
死亡者数		1	4

（図2）インフルエンザ保健所別報告数



（図3）インフルエンザ報告数 年齢別割合の推移



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○:警報レベル、△:注意報レベル、-警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (4週)		1週前 (3週)		2週前 (2週)		3週前 (1週)		4週前 (53週)		5週前 (52週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	5.2	-	14.3	△	12.1	△	11.9	△	15.7	△	35.3	○
都城	10.8	△	19.9	△	21.3	△	19.9	△	33.9	○	64.8	○
延岡	6.7	-	13.4	△	19.7	△	22.7	△	21.3	△	47.6	○
日南	14.2	△	24.2	△	15.4	△	18.4	△	27.2	△	55.8	○
小林	16.0	△	28.8	△	23.6	△	35.8	○	29.4	△	51.8	○
高鍋	9.7	-	21.3	△	13.0	△	9.2	-	18.3	△	45.5	○
高千穂	2.5	-	6.5	-	13.5	△	16.0	△	23.0	△	17.5	△
日向	5.2	-	14.7	△	14.0	△	14.3	△	9.3	-	35.0	○
中央	3.0	-	16.0	△	15.0	△	14.3	△	5.0	-	20.7	△

□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

平成22年1月18日～1月24日までの1週間で43,436人（9.0）の報告があり、前週比111%と増加した。沖縄県（36.7）、宮崎県（17.8）、山梨県（17.6）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の27%、6-9歳が23%、10-14歳が17%、15-19歳が8%、20歳代から50歳代が23%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第04週(01月25日～01月31日)

疾病名		第3週	第4週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1050	487	78	108	47	71	80	58	5	31	9
	定点あたり	17.80	8.25	5.20	10.80	6.71	14.20	16.00	9.67	2.50	5.17	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	133	100	17	5	35	9		20		14	
	定点あたり	3.69	2.78	1.89	0.83	8.75	3.00	0.00	5.00	0.00	3.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	11	22	3	1		5				13	
	定点あたり	0.31	0.61	0.33	0.17	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	3.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	49	8	6	11	5	1	7	1	3	7
	定点あたり	1.31	1.36	0.89	1.00	2.75	1.67	0.33	1.75	1.00	0.75	3.50
感染性胃腸炎	報告数	893	925	191	158	71	124	198	82	9	48	44
	定点あたり	24.81	25.69	21.22	26.33	17.75	41.33	66.00	20.50	9.00	12.00	22.00
水痘	報告数	164	130	23	44	24	11	10	3		15	
	定点あたり	4.56	3.61	2.56	7.33	6.00	3.67	3.33	0.75	0.00	3.75	0.00
手足口病	報告数	4	5	2		2			1			
	定点あたり	0.11	0.14	0.22	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	26	10	4	3	4		1		2	2
	定点あたり	0.92	0.72	1.11	0.67	0.75	1.33	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	26	45	6	6	15			1		16	1
	定点あたり	0.72	1.25	0.67	1.00	3.75	0.00	0.00	0.25	0.00	4.00	0.50
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	9	7	1	1						
	定点あたり	1.83	1.50	2.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～4週)

2類感染症	結核	15例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
5類感染症	急性脳炎	2例	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒
	麻しん	1例			2例(2)

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）が増えています。（1月25日～1月31日）

嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）の患者数は 4 週続けて増えています。小林市、日南市、都城市、宮崎市、高鍋町、清武町、国富町周辺からの報告が多く警報レベルを超えています。6 歳以下の小さなこども達が多く感染していますが、高齢者を含めた幅広い年齢層で報告されています。

この病気はウイルスや細菌などに感染することによっておこり、嘔吐と下痢が主な症状ですが発熱や腹痛などの症状が出ることもあります。

感染を予防するためには、まず、外出から戻ったときには、うがいと石けんでの手洗いを必ず行いましょう。おむつ交換や嘔吐物の処理をした後はその都度、また、トイレの後、調理や食事の前には必ず石けんで手を洗いましょう。家庭内での二次感染を防ぐことも大切です。

水ぼうそうは都城市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。その他延岡市周辺からの報告も増えています。1 歳から 4 歳のこどもたちが多く感染しています。